2020年度版

令和のベストヒット大賞

2020年、大注目の
商品・サービス・人物を
370件!!

役に立つブックシリーズ

美と健康を求めて
信頼できるいい病院・頼れるドクター特集
令和時代の本物の味と癒しの旅
令和のリーディングカンパニー
社会に寄与する注目のサービス&ビジネス
暮らしを彩る話題のアイテム

オリーブ国際特許事務所

オリーブこくさいとっきょじむしょ

知財戦略支援に光る高度の専門性 理系出身の緻密な思考回路を動員

オリーブ国際特許事務所
045-640-3253　olive@olive-pat.com
㊟ 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー37F
http://www.olive-pat.com/

Profile

所長　**藤田考晴** さん

東京工業大学工学部卒。同大学大学院理工学研究科修了。株式会社デンソーの基礎研究所で研究に従事後、大手特許事務所に入所。1998年、弁理士資格取得。約8年の実務経験を経て、2003年『オリーブ国際特許事務所』設立。

研究者を経て弁理士に 機械工学分野で力発揮

弁理士6人を含む30人のスタッフを擁し、発明や実用新案、意匠、商標の知的財産の創造、保護、活用をめぐる企業戦略を支援する『オリーブ国際特許事務所』の所長藤田考晴さんは、東京工業大学工学部で機械工学、同大学院理工学研究科で原子核工学を専攻した理系出身の弁理士。熱力学や流体力学、伝熱工学などの機械工学全般、原子核工学、空調機、印刷機、原動機、クレーンなどの制御工学分野を中心に緻密な思考回路を駆使して特許取得のための理論を構成する。

「当事務所は、発明者の方には発明に注力していただき、そのバックアップを行うことで限りあるマンパワーを製品開発に振り向けていただけるようにすることが使命と考えています。クライアントから提案される発明などの創作物に十分に敬意を払い、スタッフが持つ専門知識を動員して知的財産権を保護します。また、企業活動のグローバル化に伴い、知的財産に関する国際紛争などが激化していることも視野に入れ、苦労して発明された創作物が海外で流用されないように保護し、国外で生まれた発明も日本で適切に保護されるよう、外国の特許事情に精通したスタッフが全面的にバックアップします」

藤田さんは、大学院のときに知的財産権に関する業務を行う国家資格者である弁理士になることを決意したが、大学院修了後は、ワンステップ置いて、研究者としての実力を蓄積する道を選び、車が好きだったことから車関係の会社で、しかも若い頃から責任のある仕事ができることなどを条件に大手自動車部品メーカー、株式会社デンソーに入り、基礎研究所でスターリング冷凍機、パルス管冷凍機、エキシマレーザーを用いたレーリー散乱光によるパルス管冷凍機の管内の非定常温度分布の計測などの研究開発に従事。研究が一段落したところで大手特許事務所に転職、実務経験を重ねながら弁理士試験に向けて猛勉強し、1998年に弁理士資格を取得、2003年に独立して『オリーブ国際特許事務所』を設立した。

藤田さんは、特許庁の特定侵害訴訟代理人業務試験にも合格し、知的財産権に関する侵害訴訟に関して一定の範囲で訴訟の代理業務を行うことができる特定侵害訴訟代理人の資格も持つ。

（ライター／斎藤紘）